



ジャパンオープン・ディスクゴルフ 2008
開催のお知らせ





Japan open disc golfとは

日本国内で2年に1度開催されているディスクゴルフの国際大会です。
ディスクゴルフの普及促進と国内技術レベルの向上、そして国際交流の場として開催しております。
日本国内はもとより海外での評価が高く、世界10ヶ国以上（アメリカ、オーストラリア、カナダ、フィンランド、スウェーデン、台湾、ウガンダ、韓国、モンゴル、フランスなど）から選手が来日します。

ディスクゴルフとは

ディスクゴルフとは、ゴルフのボールの代わりにフライングディスクを使用し、バスケット型の専用ゴールに、何投で投げ入れることができるかを競うスポーツです。
アメリカで生れたこのディスクゴルフは、欧米を中心に世界の27ヶ国でプレーされています。
ディスクゴルフはフライングディスクを投げることができれば楽しめ、ルールも簡単なスポーツですので、こどもから高齢者まで、そして女性や運動の苦手な人、もちろんスポーツが得意な人も、みんなが一緒にプレーできます。コースによっては、障害者、車椅子の方でも一緒にプレーすることができます。
詳しくは ⇒ <http://www.discgolf.jp/main/index.php>



Japan open disc golf 2008

開催概要



- 開催日：2008年6月12日(木)～14日(土)
- 会場：那須ハイランドゴルフクラブ(全ホール貸切)
- 主催：株式会社ヒーロー、INNOVA Champion Discs,Inc.
- 特別協賛：Hero disc、Hero disc USA、INNOVA Champion Discs,Inc.
- 協賛：TOWA PURE COTTAGE、EZ Flying、IACE Travel、huk lab
- 協力：日本ディスクゴルフ協会、那須ハイランドゴルフクラブ、
スポーツマネジメント株式会社、Disc Sports、栃木県ディスクゴルフ協会、
日本フライングディスク協会、栃木県フライングディスク協会、アサヒビール
- 公認：PDGA(国際ディスクゴルフ協会)2008 MAJOR
- 賞金：400万円(プロ部門総額)
- 日程：2008年6月9日(月) 午後から公式練習日としてコースを開放
10日(火) 公式練習日
11日(水) 公式練習日・オープニングセレモニー
12日(木) 予選1R 27H
13日(金) 予選2R 27H
14日(土) 予選3R 18H、決勝、表彰式
- 参加人数：120名(予定)





参加選手

参加選手はアメリカ、カナダ、フィンランド、スウェーデン、オーストラリア、ニュージーランド、モンゴル、韓国、台湾の9ヶ国より来日予定。日本選手を加えた10ヶ国の選手の顔ぶれはディスクゴルフ界の実力者ばかりで、150クラス(※)の事実上の世界選手権となります。

※使用ディスクの重量制限150g以下の大会

参加選手一部紹介

Avery Jenkins (USA)

Japan open 2004 チャンピオン



Ken Climo (USA)

世界チャンピオン12回、USチャンピオン5回



Dean Tannock (USA)

2005 Masters World チャンピオン



Nate Doss (USA)

世界チャンピオン1回



Dave Feldberg (USA)

USチャンピオン1回、Euroチャンピオン1回



Valarie Jenkins (USA)

Japan open 2006 チャンピオン



Carrie BURL Berlogar (USA)

Japan open 2004 チャンピオン



Manabu Kajiyama (JAPAN)

2007年日本ランキング1位



Des Reading (USA)



Markus Kallstrom (SWEDEN)



Jussi Meresmaa (FINLAND)



Anni Krem (USA)





2006年大会の様子



「ジャパンオープン・ディスクゴルフ・2006」は2006年6月15日～17日に栃木県的那須ハイランドゴルフクラブにて開催いたしました。

那須ハイランドゴルフクラブでの2回目の開催となった2006年大会は、海外より7ヶ国から74名、国内から41名の合計115名と国際大会に相応しい世界の強豪が集い開催され、150クラスの世界選手権の様相でした。

大会は13、14日の2日間を公式練習日とし、那須ハイランドゴルフクラブ内特設コースを開放。海外選手の大半がこれに合わせ12日に続々と来日。

公開練習日2日目の14日夕方に那須ハイランドゴルフクラブのクラブハウスにてオープニングセレモニーとプレーヤーズミーティングを開催し大会がスタートした。オープニングセレモニーでは地元那須の白面金毛九尾狐太鼓による歓迎の太鼓が披露された。

大会は15日に予選第1ラウンド27ホールを予定し開始したが、強風と濃霧によりプレーの続行が不可能と判断され中断、一部の選手の第1ラウンドが16日に持ち越しとなる波乱の幕開けとなった。翌16日は、第1ラウンドを消化していない選手は朝8時よりゲームを再開し、第2ラウンドは11時よりスタートとなった。オフィシャルホテルである那須高原TOWAピュアコテージと会場の那須ハイランドゴルフクラブの協力もあり、第2ラウンドを無事に終了し最終日を迎えた。

最終日の17日は素晴らしい天気恵まれた。8時30分より第3ラウンドをスタートし14時から決勝をプロレディース、プロオープンの順でスタートした。プロレディースの決勝は予選トップのバレリー・ジェンキンスが安定したプレーを続け、そのままトップでホールアウトし優勝。一方のプロオープンエヴェリ・ジェンキンスがひとりリードし、他の3名が4打差を追いかける同スコアでスタート。混戦が続き決勝9ホールを終わって、予選トップのエヴェリ・ジェンキンスとスティーブ・リコがタイスコアでホールアウト。最終ホールを使用してプレーオフを行なった。結果はスティーブ・リコが2002年以来2度目の優勝でジャパンオープン・ディスクゴルフ2006の勝者となった。

決勝に続いて「スーパー・ディスタンス・チャレンジ」を開催し、来場者に世界トップレベルのディスタンス(遠投)が披露された。

最後は那須ハイランドゴルフクラブのクラブハウスでの表彰パーティー。パーティーは琴の生演奏をBGMにbuffスタイルで食事をしながら上位者への表彰及び賞金の贈呈を行ない、すべての日程を終了した。





主催者紹介

株式会社 ヒーロー

東京都武蔵野市西久保1-1-9 T'sロフト5F Tel:0422-55-7888

●フライングディスク業務

Hero disc(ヒーロー・ディスク)は国内唯一のフライングディスク専門メーカーとしてレクリエーション・レジャー用ディスクからドッグ用ディスクまでの製造・販売をしております。また米国・INNOVA社の総輸入元としてディスクゴルフ競技用ディスクを紹介しております。

●アウトドア業務

都市公園内のデイキャンプ・バーベキュー場の管理・運営業務
国営昭和記念公園バーベキュー広場、
都立・葛西臨海公園バーベキュー広場、都立・潮風公園バーベキュー広場
箱根トイミュージアム内レストランWimpyのテラス・バーベキュー

●沿革

- 1985年 設立 INNOVA社ディスクの輸入開始
- 1986年 ディスクゴルフ国際大会「東京オープン」開催
- 1987年 国内初の賞金ディスクゴルフ大会「ジャパンカップ」(ジャパンオープンの前身)開催
- 1990年 国営昭和記念公園・バーベキュー広場運営開始
- 1994年 ドッチビー270の前身「スーパーソフトディスク」を発売開始
- 1995年 タイプ235発売
- 1996年 タイプ120発売
- 1997年 タイプ160発売
- 1999年 都立潮風公園バーベキュー広場・運営開始
- 2000年 都立葛西臨海公園バーベキュー広場・運営開始
- 2001年 秋田ワールドゲームス・ディスクゴルフに協力、協賛
- 2002年 ジャパンオープン・ディスクゴルフ・2002復活
- 2003年 オープンエアフィールド軽井沢高原・運営開始(~2006年契約満了)
- 2004年 ヒーローディスク・WFDF公認、A.W.I.公認
ジャパンオープン・ディスクゴルフ2004・那須ハイランドゴルフクラブを貸し切って開催
- 2005年 A.W.I.(ディスクドッグ)日本大会の開催支援開始
A.W.I.ディスクドッグ世界大会冠協賛(アリゾナ州・スコッツデイル)
- 2006年 ジャパンオープン2006・那須ハイランドゴルフクラブを貸し切って開催
A.W.I.ディスクドッグ世界大会冠協賛(アリゾナ州・スコッツデイル)
- 2007年 A.W.I.ディスクドッグ世界大会ならびに日本大会に冠協賛。
他にアメリカ、ヨーロッパの予選大会に協賛・協力。(合計20大会)
JPDGA(日本ディスクゴルフ協会)10大会に提携・協賛

www.Herodisc.com